

PAL

連合会だより「パル」

PALひろば
“共済”南北

今回は 福島
磐梯吾妻スカイライン
(福島県福島市)



今号の
主要項目

- 令和5年度連合会決算の概要
- 令和6年度長期給付に係る経理の予算収支状況(速報)
- 令和5年度情報交換及び特別徴収の実施状況について

CONTENTS

主要項目 1	令和5年度 連合会決算の概要 [総務部総務課]	P.03
主要項目 2	令和6年度 長期給付に係る経理の 予算収支状況(速報) [総務部企画課]	P.12
主要項目 3	令和5年度 情報交換及び 特別徴収の実施状況について [年金業務部]	P.14
年金制度等の日誌	年金制度等に関連した法律等の改正状況/ 公的年金制度に関連した会議等の開催状況	P.16
業務等の状況	会議開催状況/会議開催予定	P.16
人事異動		P.17
■ 宿泊施設の紹介 福島県杉妻会館	[地方職員共済組合福島県支部]	P.18
■ PALひろば“共済”南北 197 観光スポット	[地方職員共済組合福島県支部]	P.19

令和5年度 連合会決算の概要

[総務部総務課]

はじめに

地方公務員共済組合連合会の令和5年度の決算（「厚生年金保険給付調整経理」、「退職等年金給付調整経理」、「経過的長期給付調整経理」、「厚生年金拠出金経理」、「基礎年金拠出金経理」、「厚生年金保険預託経理」、「退職等年金預託経理」、「経過的長期預託経理」、「介護保険経理」、「国民健康保険経理」、「後期高齢者医療経理」、「個人住民税経理」及び「業務経理」）について、その概要を説明します。

なお、この決算は、令和6年6月20日（木）に開催された第146回運営審議会の議を経て、承認されました。

厚生年金保険給付調整経理

令和5年度末の厚生年金保険給付調整積立金は、13兆1,196億6,322万4千円となりました。

① 収入について

・収入総額1兆4,983億7,207万4千円（令和4年度 6,742億8,039万8千円）

厚生年金保険給付調整経理における収入は、国家公務員共済組合連合会より拠出を受ける「財政調整拠出金受入金」、組合から払い込まれる「組合払込金」、資金の運用による「信託の運用益」などであり、内訳は表1及び図1のとおりです。

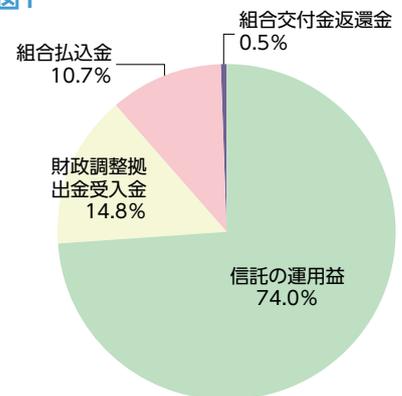
表1

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
財政調整拠出金受入金	229,554,176	221,803,123	△ 7,751,053
組合払込金	27,745,883	159,745,309	131,999,426
組合交付金返還金	-	7,801,000	7,801,000
信託の運用益	212,681,406	1,109,022,642	896,341,236
合計	469,981,465	1,498,372,074	1,028,390,609

※金額はそれぞれ千円未満を四捨五入しているため、計及び合計の額は一致しないことがある(以下同じ)。

図1



※割合はそれぞれ小数点以下第2位で四捨五入しており、「0.0」は集計した数値が表章単位に満たないものである(以下同じ)。

② 支出について

・支出総額1,611億4,927万4千円（令和4年度 1,829億8,258万円）

支出としては、年金特別会計に対して拠出する「厚生年金拠出金負担金」、「業務経理へ繰入」などであり、内訳は表2のとおりです。

表2

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
厚生年金拠出金負担金	162,038,455	157,394,060	4,644,395
組合払込金返還金	-	142,362	△142,362
組合交付金	10,228,000	-	10,228,000
信託の運用損	-	1,516,412	△1,516,412
業務経理へ繰入	2,096,440	2,096,440	-
合計	174,362,895	161,149,274	13,213,621

③ 当期利益金について

収入総額1兆4,983億7,207万4千円から支出総額1,611億4,927万4千円を差引いた「当期利益金」は1兆3,372億2,280万円となり、その全額を「厚生年金保険給付調整積立金」として積み立てました。

その結果、翌事業年度へ繰り越される「厚生年金保険給付調整積立金」の額は、13兆1,196億6,322万4千円となりました。

④ 資産の構成について

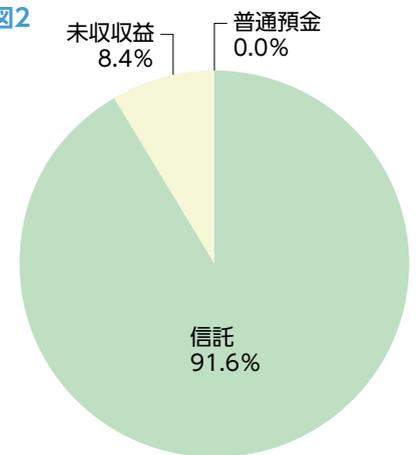
令和5年度末における資産の構成内容は、表3及び図2のとおりです。

表3

(単位:千円、%)

区分	事業計画額(A)	割合	決算額(B)	割合	比較増減(B)-(A)	
流動資産	普通預金	1,173,604	0.0%	1,909,781	0.0%	736,177
	未収収益	212,681,406	1.8%	1,106,282,785	8.4%	893,601,379
	計	213,855,010	1.8%	1,108,192,566	8.4%	894,337,556
固定資産	信託	11,804,279,108	98.2%	12,011,470,658	91.6%	171,191,550
	計	11,840,279,108	98.2%	12,011,470,658	91.6%	171,191,550
合計	12,054,134,117	100.0%	13,119,663,224	100.0%	1,065,529,107	

図2



⑤ 運用利回りについて

厚生年金保険給付調整積立金の管理運用については、安全かつ効率的な方法により運用するよう極力努めた結果、令和5年度における運用利回りは、9.02%となりました。

退職等年金給付調整経理

令和5年度末の退職等年金給付調整積立金は、1,173億1,048万6千円となりました。

① 収入について

・収入総額145億5,591万8千円（令和4年度 143億3,462万2千円）

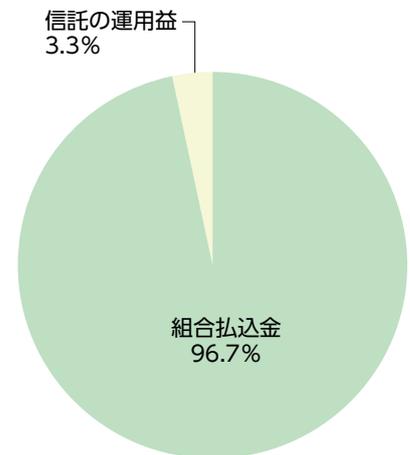
退職等年金給付調整経理における収入は、組合から払い込まれる「組合払込金」、資金の運用による「信託の運用益」であり、内訳は表4及び図3のとおりです。

表4

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
組合払込金	13,926,777	14,072,534	145,757
信託の運用益	469,368	483,384	14,016
合計	14,396,145	14,555,918	159,773

図3



② 支出について

・支出総額5億572万4千円（令和4年度 6億8,902万4千円）

支出としては、「業務経理へ繰入」であり、内訳は表5のとおりです。

表5

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
業務経理へ繰入	731,900	505,724	226,176
合計	731,900	505,724	226,176

③ 当期利益金について

収入総額145億5,591万8千円から支出総額5億572万4千円を差引いた「当期利益金」は140億5,019万4千円となり、その全額を「退職等年金給付調整積立金」として積み立てました。

その結果、翌事業年度へ繰り越される「退職等年金給付調整積立金」の額は、1,173億1,048万6千円となりました。

④ 資産の構成について

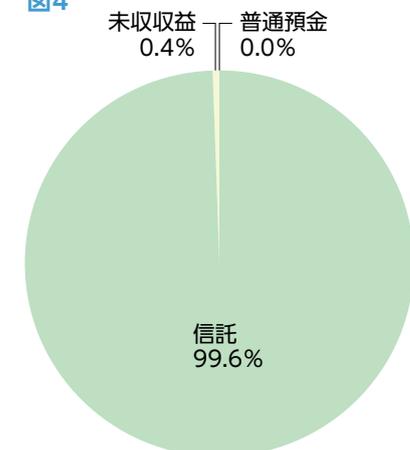
令和5年度末における資産の構成内容は、表6及び図4のとおりです。

表6

(単位:千円、%)

区分	事業計画額(A)	割合	決算額(B)	割合	比較増減(B)-(A)	
流動資産	普通預金	539,443	0.5%	19,476	0.0%	△ 519,967
	未収収益	469,368	0.4%	483,384	0.4%	14,016
	計	1,008,811	0.9%	502,860	0.4%	△ 505,951
固定資産	信託	115,915,734	99.1%	116,807,627	99.6%	891,893
	計	115,915,734	99.1%	116,807,627	99.6%	891,893
合計	116,924,545	100.0%	117,310,486	100.0%	385,941	

図4



⑤ 運用利回りについて

退職等年金給付調整積立金の管理運用については、安全かつ効率的な方法により運用するよう極力努めた結果、令和5年度における運用利回りは、0.45%となりました。

経過的長期給付調整経理

令和5年度末の経過的長期給付調整積立金は、13兆2,962億1,395万1千円となりました。

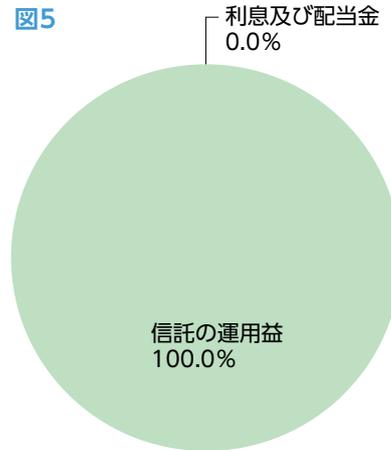
① 収入について

・収入総額1兆2,236億5,170万1千円（令和4年度 5,591億1,134万3千円）

経過的長期給付調整経理における収入は、資金の運用による「信託の運用益」などであり、内訳は表7及び図5のとおりです。

表7 (単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
利息及び配当金	282,174	302,230	20,056
信託の運用益	216,018,483	1,223,349,471	1,007,330,988
合計	216,300,657	1,223,651,701	1,007,351,044



② 支出について

・支出総額2,174億1,759万9千円（令和4年度 950億8,367万6千円）

支出としては、国家公務員共済組合連合会への「拠出金」、組合へ交付する「組合交付金」、「業務経理へ繰入」などであり、内訳は表8のとおりです。

表8 (単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
拠出金	165,515,954	157,764,902	7,751,052
組合交付金	61,678,000	57,927,000	3,751,000
信託の運用損	-	1,516,961	△ 1,516,961
業務経理へ繰入	208,736	208,736	-
合計	227,402,690	217,417,599	9,985,091

③ 当期利益金について

収入総額1兆2,236億5,170万1千円から支出総額2,174億1,759万9千円を差引いた「当期利益金」は1兆62億3,410万2千円となり、その全額を「経過的長期給付調整積立金」として積み立てました。

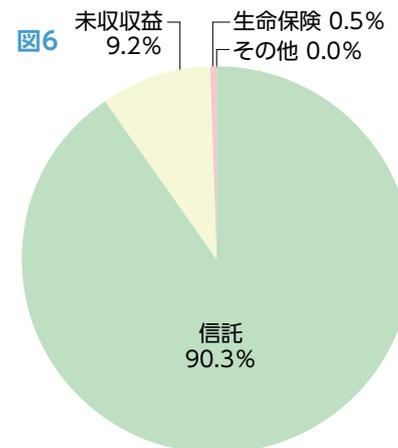
その結果、翌事業年度へ繰り越される「経過的長期給付調整積立金」の額は、13兆2,962億1,395万1千円となりました。

④ 資産の構成について

令和5年度末における資産の構成内容は、表9及び図6のとおりです。

表9 (単位:千円、%)

区分	事業計画額(A)	割合	決算額(B)	割合	比較増減(B)-(A)	
流動資産	普通預金	353,979	0.0%	3,066,256	0.0%	2,712,277
	未収収益	216,015,138	1.8%	1,220,569,702	9.2%	1,004,554,564
	計	216,369,117	1.8%	1,223,635,959	9.2%	1,007,266,842
固定資産	信託	11,959,084,080	97.7%	12,003,037,037	90.3%	43,952,957
	投資有価証券	325,261	0.0%	508,033	0.0%	182,772
	生命保険	69,011,149	0.6%	68,032,923	0.5%	21,774
	計	12,028,420,490	98.2%	12,072,577,992	90.8%	44,157,502
合計	12,244,789,607	100.0%	13,296,213,951	100.0%	1,051,424,344	



⑤ 運用利回りについて

経過的長期給付調整積立金の管理運用については、安全かつ効率的な方法により運用するよう極力努めた結果、令和5年度における運用利回りは、9.66%となりました。

厚生年金拠出金経理

① 収入について

・収入総額6兆4,354億3,905万7千円

(令和4年度 6兆5,273億686万5千円)

厚生年金拠出金経理における収入は、各組合及び当連合会が負担する「厚生年金拠出金負担金」並びに年金特別会計から交付される「厚生年金交付金」であり、内訳は表10のとおりです。

表10

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
厚生年金拠出金負担金	3,059,357,687	3,042,001,409	△17,356,278
厚生年金交付金	3,393,437,649	3,393,437,648	△1
合計	6,452,795,336	6,435,439,057	△17,356,279

② 支出について

・支出総額6兆4,354億3,905万7千円

(令和4年度 6兆5,273億686万5千円)

支出としては、年金特別会計へ納付する「厚生年金拠出金」及び各組合へ交付する「厚生年金交付金支払金」であり、内訳は表11のとおりです。

表11

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
厚生年金拠出金	3,059,357,687	3,042,001,409	17,356,278
厚生年金交付金支払金	3,393,437,649	3,393,437,648	1
合計	6,452,795,336	6,435,439,057	17,356,279

基礎年金拠出金経理

① 収入について

・収入総額1兆3,962億5,646万8千円

(令和4年度 1兆5,629億7,572万8千円)

基礎年金拠出金経理における収入は、各組合が負担する「基礎年金拠出金負担金」及び年金特別会計から交付される「基礎年金交付金」であり、内訳は表12のとおりです。

表12

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
基礎年金拠出金負担金	1,548,078,257	1,358,659,982	△189,418,275
基礎年金交付金	37,596,487	37,596,486	△1
合計	1,585,674,744	1,396,256,468	△189,418,276

② 支出について

・支出総額1兆3,962億5,646万8千円

(令和4年度 1兆5,629億7,572万8千円)

支出としては、年金特別会計へ納付する「基礎年金拠出金」及び各組合へ交付する「基礎年金交付金支払金」であり、内訳は表13のとおりです。

表13

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
基礎年金拠出金	1,548,078,257	1,358,659,982	189,418,275
基礎年金交付金支払金	37,596,487	37,596,486	1
合計	1,585,674,744	1,396,256,468	189,418,276

厚生年金保険預託経理

① 収入について

・収入総額64億6,313万3千円

(令和4年度 30億4,065万円)

厚生年金保険預託経理における収入は、組合から預託された預託金の運用による「信託の運用益」であり、表14のとおりです。

表14

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
信託の運用益	1,611,323	6,463,133	4,851,810
合計	1,611,323	6,463,133	4,851,810

② 支出について

・支出総額64億6,313万3千円

(令和4年度 30億4,065万円)

支出としては、組合への「支払利息」などであり、表15のとおりです。

表15

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
支払利息	1,611,323	6,332,400	△4,721,077
収益調整金償却	-	130,733	△130,733
合計	1,611,323	6,463,133	△4,851,810

③ 運用利回りについて

預託金運用口全体の令和5年度の運用利回りは、7.80%となりました。

経過的長期預託経理

① 収入について

・収入総額71億2,678万5千円

(令和4年度 33億4,675万8千円)

経過的長期預託経理における収入は、組合から預託された預託金の運用による「信託の運用益」であり、表16のとおりです。

表16

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
信託の運用益	1,795,350	7,126,785	5,331,435
合計	1,795,350	7,126,785	5,331,435

② 支出について

・支出総額71億2,678万5千円

(令和4年度 33億4,675万8千円)

支出としては、組合への「支払利息」などであり、表17のとおりです。

表17

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
支払利息	1,795,350	6,701,645	△4,906,295
収益調整金償却	-	425,140	△425,140
合計	1,795,350	7,126,785	△5,331,435

③ 運用利回りについて

預託金運用口全体の令和5年度の運用利回りは、8.05%となりました。

退職等年金預託経理

① 収入について

・収入総額0円

(令和4年度 0円)

地方公務員等共済組合法施行規程(以下「施行規程」という。)第12条の3の規定により組合から預託される預託金は見込まれないことから、予算を計上しておらず、実際に預託されなかったため、決算額は0円となりました。

② 支出について

・支出総額0円

(令和4年度 0円)

施行規程第12条の3の規定により組合から預託される預託金は見込まれないことから、予算を計上しておらず、実際に預託されなかったため、決算額は0円となりました。

介護保険経理

① 収入について

・収入総額35億9,182万円

(令和4年度 44億3,877万9千円)

介護保険経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「介護保険料納入金」であり、表18のとおりです。

表18

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
介護保険料 納入金	3,706,309	3,591,820	△114,489
合計	3,706,309	3,591,820	△114,489

② 支出について

・支出総額35億9,182万円

(令和4年度 44億3,877万9千円)

支出としては、市区町村へ納入する「介護保険料」であり、表19のとおりです。

表19

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
介護保険料	3,706,309	3,591,820	114,489
合計	3,706,309	3,591,820	114,489

国民健康保険経理

① 収入について

・収入総額4,156万9千円

(令和4年度 4,612万5千円)

国民健康保険経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「国民健康保険料及び国民健康保険税の納入金」であり、表20のとおりです。

表20

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
国民健康保険料 (税)納入金	42,826	41,569	△1,257
合計	42,826	41,569	△1,257

② 支出について

・支出総額4,156万9千円

(令和4年度 4,612万5千円)

支出としては、市区町村へ納入する「国民健康保険料及び国民健康保険税」であり、表21のとおりです。

表21

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
国民健康 保険料(税)	42,826	41,569	1,257
合計	42,826	41,569	1,257

後期高齢者医療経理

① 収入について

・収入総額42億8,653万3千円

(令和4年度 54億2,217万3千円)

後期高齢者医療経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「後期高齢者医療保険料納入金」であり、表22のとおりです。

表22

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
後期高齢者医療保険料納入金	4,495,353	4,286,533	△208,820
合計	4,495,353	4,286,533	△208,820

② 支出について

・支出総額42億8,653万3千円

(令和4年度 54億2,217万3千円)

支出としては、市区町村へ納入する「後期高齢者医療保険料」であり、表23のとおりです。

表23

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
後期高齢者医療保険料	4,495,353	4,286,533	208,820
合計	4,495,353	4,286,533	208,820

個人住民税経理

① 収入について

・収入総額15億5,221万9千円

(令和4年度 20億2,115万4千円)

個人住民税経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「個人住民税納入金」であり、表24のとおりです。

表24

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
個人住民税納入金	1,608,090	1,552,219	△55,871
合計	1,608,090	1,552,219	△55,871

② 支出について

・支出総額15億5,221万9千円

(令和4年度 20億2,115万4千円)

支出としては、市区町村へ納入する「個人住民税」であり、表25のとおりです。

表25

(単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
個人住民税	1,608,090	1,552,219	55,871
合計	1,608,090	1,552,219	55,871

業務経理

① 収入について

・収入総額61億1,534万2千円

(令和4年度 64億7,057万8千円)

業務経理における収入としては、組合員1人当たり1,120円の「組合分担金」及び「厚生年金保険給付調整経理より繰入」などであり、内訳は表26のとおりです。

表26 (単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
組合分担金	3,388,187	3,304,348	△83,839
雑収入	-	94	94
厚生年金保険給付調整経理より繰入	2,096,440	2,096,440	-
退職等年金給付調整経理より繰入	731,900	505,724	△226,176
経過的長期給付調整経理より繰入	208,736	208,736	-
当期損失金	87,375	-	△87,375
合計	6,512,638	6,115,342	△397,296

② 支出について

・支出総額52億9,741万4千円

(令和4年度 65億7,773万4千円)

(1)本年度中に行った主な会議は、次のとおりです。

- ア 役員会 4回
- イ 運営審議会 4回

(2)本年度中に行った監査は、次のとおりです。

- ア 監事会議 1回
- イ 決算監査 1回
- ウ 中間監査 1回
- エ 例月監査 12回
- オ 定期監査(監査員監査) 1回

(3)本年度中に行った主な事業は、次のとおりです。

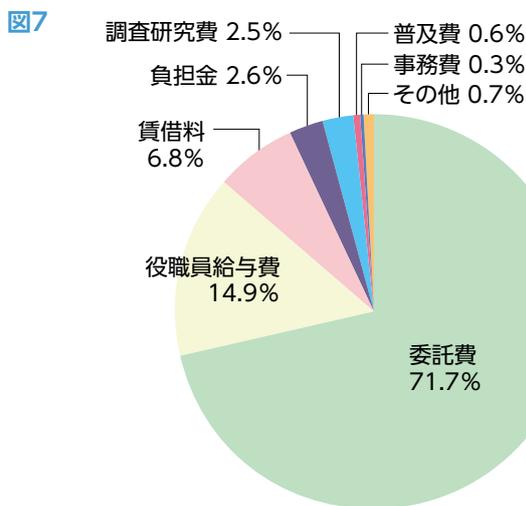
- ア 基礎年金支払代行に係るシステムの維持管理及び事務
- イ 標準システムの維持管理
- ウ 情報共有化システムの運営及び維持管理
- エ 年金払い退職給付関連システムの維持管理
- オ 社会保障・税番号制度に係るシステムの運営及び維持管理
- カ 各種情報交換及び特別徴収に係る事務
- キ 年金事務担当者研修会
- ク 資金運用全国説明会
- ケ 年金積立金の管理・運用
- コ 広報誌「連合会だより PAL」(6回)の発行
- サ 年金払い退職給付に係る基準利率、終身年金現価率及び有期年金現価率の算定と、算定結果に係る組合員等への広報
- シ 年金払い退職給付に係る財政検証と、その結果に係る組合員等への広報

ス 年金払い退職給付に係る財政再計算と、その結果に係る組合員等への広報等

(4)これらの会議及び事業に要した経費は、総額52億9,741万4千円となっており、主な科目別内訳は表27及び図7のとおりです。

表27 (単位:千円)

科目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
役員報酬	74,392	78,099	△3,707
職員給与	707,850	709,303	△1,453
旅費	5,641	3,011	2,630
事務費	17,493	17,247	246
委託費	4,965,692	3,799,556	1,166,136
賃借料	374,399	357,810	16,589
調査研究費	157,399	131,141	26,258
普及費	31,248	29,794	1,454
負担金	141,728	136,162	5,566
減価償却費	12,887	12,891	△4
その他	23,909	22,330	1,579
前期損益修正損	-	70	△70
合計	6,512,638	5,297,414	1,215,224



③ 当期利益金及び剰余金の繰越しについて

収入総額61億1,534万2千円から支出総額52億9,741万4千円を差引いた「当期利益金」は8億1,792万8千円となり、翌事業年度へ繰り越される剰余金は24億8,901万9千円となりました。

令和6年度 長期給付に係る 経理の予算収支状況(速報)

[総務部企画課]

はじめに

令和6年度の地方公務員共済組合全体における厚生年金保険経理等(※)、退職等年金経理等(※)及び経過的長期経理等(※)に係る予算の収益総額、費用総額及び収支差は以下のとおりです。

(金額単位：百万円)

経理名	収益総額	費用総額	収支差
厚生年金保険経理等	8,850,912	8,638,439	212,473
退職等年金経理等	322,071	15,331	306,740
経過的長期経理等	580,348	764,259	▲ 183,911

※集計は、各共済組合及び市町村連合会の厚生年金保険経理、退職等年金経理及び経過的長期経理と地方公務員共済組合連合会の前記各経理に相当する経理(厚生年金保険給付調整経理、退職等年金給付調整経理及び経過的長期給付調整経理)、厚生年金拠出金経理及び基礎年金拠出金経理を対象としました。

なお、主な各収支項目の割合は下図1～6のとおりです。(金額単位:百万円)

図1 厚生年金保険経理等の収益の主な項目割合

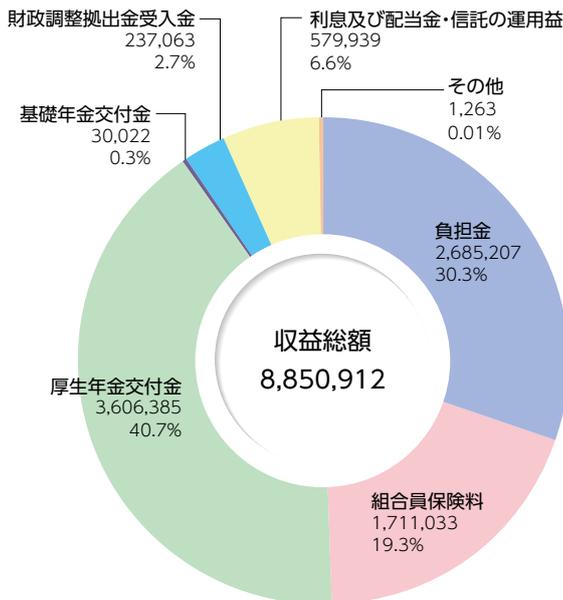


図2 厚生年金保険経理等の費用の主な項目割合

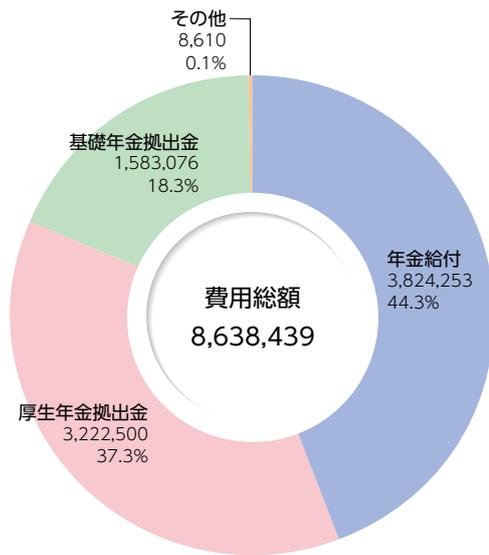


図3 退職等年金経理等の収益の主な項目割合

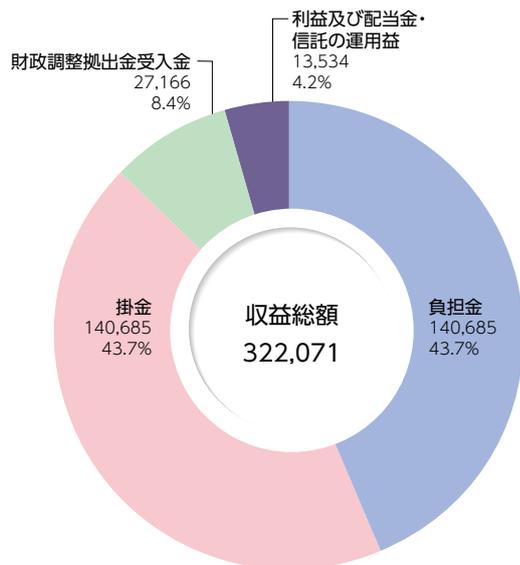


図4 退職等年金経理等の費用の主な項目割合

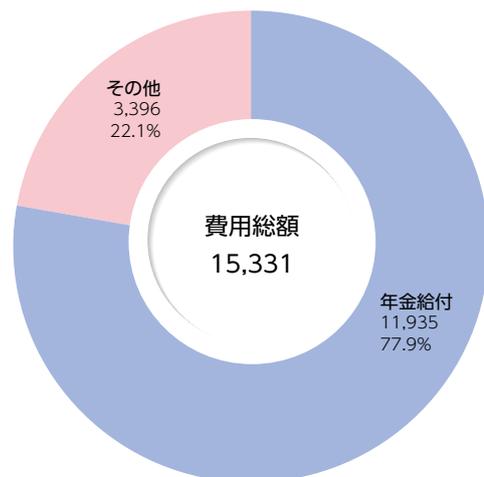


図5 経過的長期経理等の収益の主な項目割合

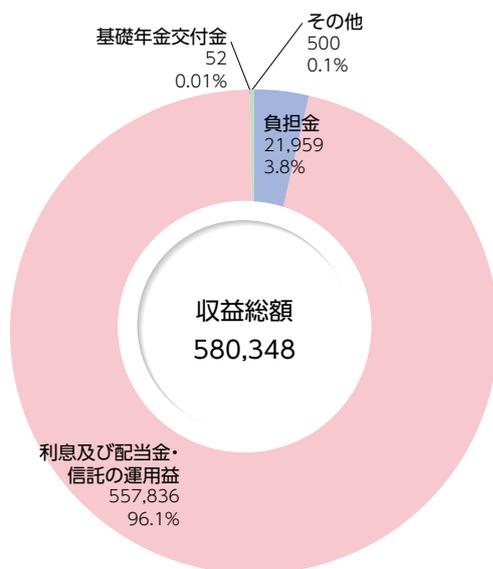
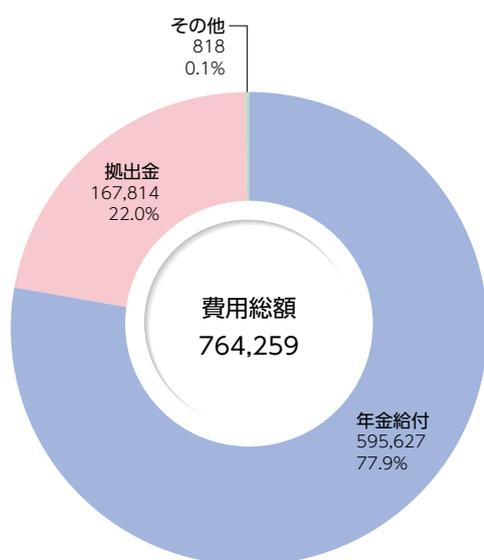


図6 経過的長期経理等の費用の主な項目割合



【備考】

- 1 地方公務員共済組合全体で見た場合に、二重計上となる項目(地方公務員共済組合連合会の「基礎年金拠出金」と各共済組合及び市町村連合会の「基礎年金拠出金負担金」等)については、一方のみを集計しました。
- 2 「組合払込金」については集計対象外となるため、「組合交付金(連合会交付金)」及び「組合払込金(連合会払込金)」については内部取引となるため、集計していません。
- 3 収益の「その他」内訳(予算書における科目)
「退職一時金等返還金」、「前期損益修正益」、「償還差益」、「雑収入」
- 4 費用の「その他」内訳(予算書における科目)
「雑費」、「業務経理へ繰入」、「前期損益修正損」、「償還差損」
- 5 端数処理の関係で、内訳の合計と合計数が一致しないところがあります。

令和5年度 情報交換及び 特別徴収の実施状況について

[年金業務部]

情報交換事務に関する業務

1 基礎年金の年金請求等に関する情報交換

(1) 年金請求等に関する業務

共済組合と日本年金機構との間の窓口として、単一者等に係る基礎年金の年金請求書や各種情報交換文書の送付及び調整事務等を行っています。年金請求書等の送付件数は次のとおりです。

(単位:件)

区 分		令和5年度
年金請求書の送付件数	老齢基礎年金	20,079
	障害基礎年金	1,914
	遺族基礎年金	133
	合 計	22,126
年金受給選択申出書の送付件数		716
現況届の送付件数	老齢基礎年金	163
	障害基礎年金	3,801
	遺族基礎年金	858
	合 計	4,822

※「単一者等」とは、老齢基礎年金及び遺族基礎年金については、年金制度に加入した期間が地方公務員共済組合(国家公務員共済組合を含む。)の期間だけの者及びこれに準ずる者のことであり、障害基礎年金については、地方公務員共済組合の組合員期間のうちに初診日がある者のことである。

(2) 支払代行に関する業務

単一者等に係る基礎年金の支払代行に関する共済組合と日本年金機構との間の経由業務として、日本年金機構からの基礎年金支払情報の授受、当該情報の共済組合への提供に係る事務等を行っています。基礎年金の支払代行の件数及び金額は次のとおりです。

(単位:千件/千円)

区 分		令和5年度	
		件数	金額
基礎年金支払代行	老齢基礎年金	2,343	205,656,049
	障害基礎年金	181	26,977,298
	遺族基礎年金	6	1,140,623
	合 計	2,530	233,773,970

(注)合計は、端数処理の関係で内訳と一致しないことがある。

2 厚生年金の決定、改定等に関する情報交換

厚生年金の決定、改定等にあたっては、共済組合、日本年金機構、国家公務員共済組合連合会及び日本私立学校振興・共済事業団(以下「実施機関」という。)との間で、それぞれが管理する年金記録等の情報交換が必要な場合があります。この情報交換は、主にファイル転送等により行われています。

当連合会は、当該情報交換に関する情報連携システム及び情報交換システムを運営し、実施機関間の経由事務を行っています。

特別徴収事務等に関する業務

1 特別徴収事務の内容

介護保険法、国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律及び地方税法の規定に基づき、各保険・医療制度の保険者である各市区町村(以下「市町村」という。)と特別徴収義務者である共済組合との間の介護保険料、国民健康保険料(税)、後期高齢者医療保険料及び個人住民税(以下「保険料(税)」という。)の年金からの特別徴収に関する情報交換及び保険料(税)の納入等の経由事務を行っています。

2 特別徴収の事務処理状況

(1) 年次処理[年1回]

ア 特別徴収対象者情報の通知

(共済組合→連合会→経由機関→市町村)

共済組合から特別徴収対象者情報の提供を受け、日本年金機構等の特別徴収対象者情報と突合処理し、当該情報との重複者を除いた後、該当市町村ごとに分割し、経由機関を通じて該当市町村に特別徴収対象者情報を通知しています。

イ 特別徴収依頼情報の通知

(市町村→経由機関→連合会→共済組合)

市町村から経由機関を通じて特別徴収依頼者及び保険料(税)額の依頼情報を受け、該当共済組合ごとに分割し、該当共済組合に通知しています。

(2) 月次捕捉処理[2か月毎]

ア 特別徴収追加候補者情報の通知

(共済組合→連合会→経由機関→市町村)

共済組合から特別徴収追加候補者情報の提供を受け、日本年金機構等の特別徴収追加候補者情報と突合処理し、当該情報との重複者を除いた後、該当市町村ごとに分割し、経由機関を通じて該当市町村に特別徴収追加候補者情報を通知しています。

イ 特別徴収追加依頼情報の通知

(市町村→経由機関→連合会→共済組合)

市町村から経由機関を通じて特別徴収追加依頼者及び保険料(税)額の依頼情報を受け、該当共済組合ごとに分割し、該当共済組合に通知しています。

(3) 月次処理[毎月]

各種異動情報の通知

(市町村→経由機関→連合会→共済組合)

市町村から経由機関を通じて毎月20日までに提出があった死亡・転出等の各種異動情報を該当共済組合ごとに分割し、該当共済組合に通知しています。

(4) 定期処理[2か月毎]

ア 徴収結果情報の通知

(共済組合→連合会→経由機関→市町村)

共済組合において特別徴収された保険料(税)の徴収結果情報を、該当市町村ごとに分割し、特別徴収した月の翌月10日までに経由機関を通じて該当市町村に通知しています。

イ 徴収保険料(税)の納入

(共済組合→連合会→市町村)

共済組合において特別徴収された保険料(税)を収納し、該当市町村ごとに分割し、特別徴収した月の翌月10日までに該当市町村が指定する金融機関口座に納入しています。

各徴収月に特別徴収した保険料(税)の実績

(単位 徴収金額:百万円 人数:人 市町村数:市町村)

令和5年度 徴収月	介護保険			国民健康保険		
	徴収金額	人数	市町村数	徴収金額	人数	市町村数
4月	656	63,715	1,614	7	1,203	586
6月	636	62,077	1,613	7	1,213	585
8月	614	60,417	1,616	7	1,217	585
10月	585	56,861	1,608	6	1,048	540
12月	559	54,942	1,604	6	1,015	528
2月	539	53,099	1,598	6	1,010	524
計	3,589	延べ 351,111	-	39	延べ 6,706	-

(単位 徴収金額:百万円 人数:人 市町村数:市町村)

令和5年度 徴収月	後期高齢者医療保険			個人住民税		
	徴収金額	人数	市町村数	徴収金額	人数	市町村数
4月	860	53,562	1,594	289	22,046	1,471
6月	815	51,869	1,591	276	21,232	1,465
8月	782	50,487	1,590	256	19,347	1,451
10月	639	48,351	1,590	256	19,367	1,454
12月	608	46,536	1,583	243	18,559	1,443
2月	582	44,774	1,577	232	17,782	1,431
計	4,286	延べ 295,579	-	1,552	延べ 118,333	-

(注) 徴収金額の計欄は、端数処理の関係で各徴収月の金額の合計と一致しないことがある。



宿泊施設 の紹介

地方職員共済組合
福島県支部

地方職員共済組合福島県支部

福島県杉妻会館

福島県庁の南側に位置し、福島市随一の庭園が自慢の施設。
会議、宴会、レストラン、宿泊など幅広くご利用をいただけます。
夏には、庭園でビアガーデンを開催しておりますので、皆様のご来館をお待ちしております。



自慢の庭園



1階ロビー



レストラン



ビアガーデン

宿泊料金（一泊一名素泊り 税・サ込）

お部屋タイプ	料金（一般）	料金（組合員）
和室6畳	6,050	5,450
シングルベッドルーム	7,050	5,950
ツインベッドルーム	6,550～	5,450～

※その他、お得なプランもございます。詳しくは、ホームページまたはお問合せをお願いいたします。

ご予約・お問合せ

〒960-8065 福島県福島市杉妻町3番45号
☎ 024-523-5161 (代表)
🌐 <http://www.sugitsuma-kaikan.com/>

交通のご案内

電車 | JR福島駅 徒歩10分
バス | 市内巡回バス大町停留所 徒歩5分
お車 | 東北自動車道「福島西IC」車で約10分

観光スポット

密語橋(ささやきばし) 杉妻会館内

杉妻会館の庭園の中に再建された伝説の橋。福島城(現在の福島県庁近辺)の南木戸口(現在の杉妻会館の南隅あたり)にあったと言われていいます。伝説「王老杉物語り」に登場する橋で、「日本昔ばなし」の題材(タイトル:ささやき橋)にもなっています。



フルーツライン 杉妻会館より車で約15分

福島市の飯坂温泉街から土湯温泉入口までを結ぶ県道5号線を「フルーツライン」と呼んでいます。約50件の果樹園が点在し、さくらんぼ、桃、梨、ぶどう、りんごなど四季折々のフルーツ狩りや直売が行われています。

6月	7月	8月	9月	10月	11月
・サクランボ	・桃	・桃 ・梨	・桃 ・梨 ・ブドウ ・りんご	・梨 ・ブドウ ・りんご	・りんご



古関裕而記念館 杉妻会館より車で約10分

福島市出身の大作曲家、古関裕而の業績を称え作られた記念館です。古関裕而は、全国高等学校野球選手権大会の大会歌「栄光は君に輝く」や「オリンピック・マーチ」など国民に愛される作品や校歌等、生涯5,000曲あまり作曲しました。2020年前期に放映されたNHK連続テレビ小説「エール」のモデルにもなりました。



福島県立美術館

杉妻会館より車で約10分

福島県立美術館には絵画、版画、彫刻、工芸など1,800点以上の美術品があります。中でも20歳で歿した福島県出身の画家関根正二と同時代に活躍した画家たち、フランス印象派の絵画、ベン・シャーン、ワイエスら20世紀アメリカの絵画が大きな特色となっています。





地方公務員共済組合連合会
Pension Fund Association for Local Government Officials

<https://www.chikyoren.or.jp/>

- 地方職員共済組合 <https://www.chikyosai.or.jp/>
- 公立学校共済組合 <https://www.kouritu.or.jp/>
- 警察共済組合 <https://www.keikyo.jp/>
- 東京都職員共済組合 <https://www.kyosai.metro.tokyo.jp/>
- 全国市町村職員共済組合連合会 <https://ssl.shichousonren.or.jp/>
- 指定都市職員共済組合 / 市町村職員共済組合 / 都市職員共済組合

連合会だより・第239号

令和6年7月発行

編集・発行 地方公務員共済組合連合会 総務部 企画課

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1

TEL 03(6807)3677(代)

表紙の写真:磐梯吾妻スカイライン(福島県福島市)

福島市西方の高湯温泉から土湯峠へ吾妻の山並みを縫うパノラマコース。杉妻会館からは、車で約30分。日本初の山岳道路であり、全長約29km、最高標高1,622m、平均標高1,350mの彩る絶景を見に何度も訪れる人が多く、「日本の道100選」にも選ばれています。最近では、SNSで「まるでアリゾナ!?!」としても話題となりました。

